

「脚下照顧」

『(株)テクア技研経営理念』と『家康のわらじの跡』の関係

先々月『厭離穢土 欣求浄土』という言葉を紹介させていただきました。今川義元が織田信長に桶狭間の合戦で敗れたとき、今川方についていた徳川家康は命からがら先祖代々の墓がある岡崎の大樹寺に逃げ帰るわけですが、そこで大樹寺の住職に『戦をする意味』を問われ、『武士の名誉の為』と答えます。すると住職は『それではこのあたりの盗賊と何の違いもない。世の平和のために兵を交える、天下民のための武将でなくてはならない』と諭され、『厭離穢土 欣求浄土』という言葉が教えられます。『世の中の荒みをなくし、住みよい社会を作る』という意味のこの言葉は、260年間戦争がなかったという、世界史上まれに見ぬ平和な時代であった江戸時代を作った徳川家の『理念』であったといえます。

前置きが長くなりましたが、その『理念』発祥の地である大樹寺町にたまたま籍を置く我が(株)テクア技研。以前は『日本を美しくする会』を運営されていたイェローハットさんが大樹寺のそばにデーンと構えられていたのですが、今はかっぱ寿司さんに変ってしまった以上、この徳川家の『理念』を大樹寺町代表として引き継ぐ企業は、我ら(株)テクア技研の面々しかない！と勝手に断言し、ここに宣言いたします。

とはいってもテクア技研が造反組を復党させる安倍政権を打倒して新政府を樹立するわけではありませんし、戦をするわけでもありません(笑)。「厭離穢土 欣求浄土」という言葉を我々の空気機器回転体の工事という分野に落とし込んだ時に何ができるかです。

それはたとえば『粉塵まみれになる現場でも心の荒んでいない心優しい職人を育てる』であり、『危険な作業を知恵と工夫と思いやりで顧客から安心していただける作業に変える』であり、『作業責任者で培ったリーダーシップを小中学校での奉仕活動に役立てる』であり、特に子供達は今、先生との関わりだけでは自分の価値を見出すことがとても困難になっていて、地域社会の大人たちのちょっとした褒め言葉に笑顔を取り戻すことがよくあります。

『君のそのケレンの使い方匠だね～将来はトヨタ自動車間違いないだね！』なんて小学校での掃除のときにちょっと言ってあげただけで、その子は目を輝かせてヤスリからケレンからピンセットからいろんな道具を持ち出して自分で工夫しながら喜々として掃除をはじめます。(あなたの何気ない一言が将来のエジソン、いや豊田佐吉翁を創るかもしれない！)

30年後、自分が生きているかどうか分かりませんが、30年後の夢は全国47都道府県にテクアの支店があり、それぞれの支店に自尊心の高い素晴らしい支店長(大名)がいて、その下には勇気ある心優しい副将達(作業責任者)が安心作業を行い、時に無謀に地域100キロウオークに挑戦し、時に小中学校に出向いて子供達と一緒に汗を流し元気を与え、時に道路のごみ拾いにさまよい歩き、時に宴会だサイパンだとバカ騒ぎし、ほめられもせず、苦にもされず、でもいつも満足げに笑顔を絶やさず静かに笑っているテクノボー集団でありたい！！

人の幸せとは何かと考えたとき、やはり『半ば自分の幸せを 半ば他人の幸せを』という微妙なバランスのうちにあるような気がします。すぐにはそう考えられないかもしれませんが、縁あって入社し、がむしゃらに仕事を覚え、技術を身につけ、信頼され、任せられ、収入も上がり、地位もできたとき、自分の内面を本当に喜ばせるには決定的に何かが足りないことに気づくと思います。其の時が『半ば他人の幸せを』へのターニングポイントだと思います。『厭離穢土 欣求浄土』の白い旗を掲げた47人の自尊心の高い大名を探すのがこれからの自分の仕事となります。

『馬鹿が何を夢のようなことを！』とご批判される方もいらっしゃるかもしれませんが、人生たった1回ポッキリ。そしてせっかく大樹寺に会社があるのだから、夢は大きく描いて挑戦しませんか？

ところで家康が現在の名古屋高速の大高インターあたりから大樹寺へ逃げ帰ったとき、矢作川はどこの辺りを渡ったかご存知ですか？じつは我々がいつも工具を買っている大久保商事の裏の土手辺りからなのです。たまたま鹿の親子がそこを渡っているのを発見し、そこが浅瀬だと判断したらしいのです。(徳川四天王の一人本多忠勝が鹿角の兜を愛用したのはこのときの鹿が天の導きであると確信したからという逸話が残っています)。

そして川に流され、多分一行は今の岡崎大橋辺りの反対岸にたどり着いたと予想されます。

そしてそして(ここからは地図と定規を用意してください。)その反対岸の地点から大樹寺に向けて定規で一直線に線を引くとあら不思議！なんと家康一行はこのテクア技研の土地を踏みしめていたという歴史的事実に行き当たるのです！！テクア技研の土地を掘り起こすと必ずしや家康のわらじの跡が出土します！！

テクアと一緒に江戸時代にタイムスリップしてみませんか？私の場合はすごいですよ！

なんと天の導きが馬と鹿ですから(笑)。楽しくぼちぼちご安全にまいりましょう！！

感謝 羽原篤史



徳川四天王で有名な本多忠勝は桶狭間の合戦以来生涯57回の合戦に臨み、1度も怪我をしなかったと言います。
テクア技研の安全作業の守り神になっていただこうと思っております。

